

令和2年度大学コンソーシアムやまがた定期総会議事録

日時	令和2年8月4日(火) 14:30~15:20		
場所	ゆうキャンパス・ステーション及びテレビ会議		
出席者	羽陽学園短期大学	:	渡邊 洋一 学長
	鶴岡工業高等専門学校	:	高橋 幸司 校長
	東北芸術工科大学	:	中山 ダイスケ 副会長/学長 →代理: 滝口 慶太 教学2課長
	東北公益文科大学	:	神田 直弥 副会長/学長
	東北文教大学/東北文教大学 短期大学部	:	須賀 一好 副会長/学長
	放送大学山形学習センター	:	安田 弘法 所長 →代理: 齋藤 真幸 事務長
	山形県立産業技術短期大学校	:	尾形 健明 校長
	山形県立農林大学校	:	舟越 利弘 校長
	山形県立保健医療大学	:	前田 邦彦 副会長/学長
	〃	:	渋江 光晴 幹事会副委員長/理事・事務局長
	山形県立米沢栄養大学/山形 県立米沢女子短期大学	:	阿部 宏慈 監事/学長
	〃	:	佐藤 佳奈江 幹事会副委員長/理事・事務局長
	山形大学	:	玉手 英利 会長/学長
	〃	:	出口 毅 幹事会委員長/理事・副学長
	〃	:	栗山 恭直 企画会議委員長/教授
	〃	:	井上 榮子 ダイバーシティ推進ネットワーク 会議議長/准教授
	山形県	:	大瀧 洋 監事/総務部長 →代理: 松本 秀樹 総務部学事文書課長
欠席者	東北芸術工科大学	:	野村 真司 幹事会副委員長/理事
	東北文教大学/東北文教大学 短期大学部	:	大桃 伸一 幹事会副委員長/副学長
	山形工科短期大学校	:	小幡 知之 校長
説明者	山形大学	:	林田 光祐 副学長
陪席者	山形県	:	佐藤 祥子 総務部学事文書課主事
	山形大学	:	高橋 淳 教育部長
	〃	:	星川 恵 教育部教育課主任
事務局		:	後藤 尚宏

会議に先立ち、事務局から、今年度新たに委員になった9名の紹介、総会成立の報告及びその他の議題に関連して、山形大学の林田光祐副学長が説明者として出席している旨の紹介があった。

[協議事項]

1 役員の選任について

事務局から、会長選任までの間、幹事会の出口毅委員長に議長をお務め願うこととしたい旨の提案があり承認された。

出口議長から、資料1に基づき、会長選出に当たり適任者を推薦願いたい旨の発言があったが、各委員から特に推薦はなく、議長から、小山清人前会長の後任として、慣例により山形大学の玉手英利委員に会長をお願いしたい旨の提案があり承認された。

玉手会長から、会長就任のあいさつの後、副会長の選任について、これまでお務めの機関の委員に引き続き担当願いたい旨の提案があり承認され、次の副会長が選任された。

(副会長)

東北芸術工科大学 中山 ダイスケ 学長

東北公益文科大学 神田 直弥 学長

東北文教大学／東北文教大学短期大学部 須賀 一好 学長

山形県立保健医療大学 前田 邦彦 学長

次に、会長から、監事の選任について、同様にこれまでお務めの機関の委員に引き続き担当願いたい旨の提案があり承認され、次の監事が選任された。

(監事)

山形県立米沢栄養大学/山形県立米沢女子短期大学 阿部宏慈 学長

山形県 大瀧 洋 総務部長

2 令和元年度事業報告について

事務局から、資料2に基づき、プロスポーツを活用した地域活性化活動の「雪中棚田サッカー大会」は、例年になく雪不足のため中止となった以外は、地域貢献・活性化事業を始めとするほとんどの事業がほぼ当初の計画どおりに実施された。なお、昨年度の大きな事業であった「ゆうキャンパス・ステーション」の移転については、2月1日に遊学館へ移転し、同館内の県立図書館リニューアルオープンイベントに合わせ、各種イベントを実施したことが報告された。

次いで、会長から本件について諮られた結果、承認された。

3 令和元年度収支決算（案）について

4 監査報告について

事務局から、資料3に基づき、一次補正、二次補正の内容の説明及び収入決算額10,990,463円から支出決算額の9,524,935円を差し引いた1,465,528円が、令和2年度への繰越額となる旨の報告があった。

引き続き、阿部監事から、資料4に基づき、適正である旨の監査報告があった。

次いで、会長から両議題について諮られた結果、承認された。

5 令和2年度事業計画（案）について

6 令和2年度収支予算（案）について

事務局から、資料5に基づき、事業計画書（案）については、第3期事業計画のもとに作成しており、原則として令和元年度事業を継続する形にしているが、今年度は事業評価実施の時

期となっている。なお、現時点で新型コロナウイルス感染症の影響により、ほぼすべての事業に影響が生じてきており、今後も状況を確認の上、実施を検討したい旨の説明があった。

また、会長から、今年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等を見据えながら事業を展開せざるを得ない状況である旨の付言があった。

事務局から、資料6に基づき、収支予算（案）について、ゆうキャンパス・ステーション移転に伴い、従来のむらきさわビルでのゆうキャンパス・ステーション運営費としての運用はなくなり、大学コンソーシアムやまがた1本で管理することとなり、「機関負担金収入」の4,683,783円、「繰越金」の1,465,528円に「雑収入」の43円を加え、収入予算額は6,149,354円となる。また、支出については、令和元年度の実績を考慮してほぼ同額としているが、講演会等講師用パソコンの更新経費を共通経費に計上している旨の説明があった。

次いで、会長から両議題について諮られた結果、承認された。

7 令和3年度機関負担金（会費）（案）について

事務局から、資料7に基づき、改めて各機関の収容定員を確認し、予定されている変更分を反映させたものであり、県機関の次年度の予算要求に間に合うよう今回の総会に提案した旨の説明があった。

次いで、会長から本件について諮られた結果、承認された。

[その他]

1 山形県、山形新聞社及び山形大学によるSDGsの推進に向けた共同宣言について

会長から、8月6日（木）に、山形県、山形新聞社及び山形大学によるSDGsの推進に向けた共同宣言を行うことを予定しており、本件に関する情報提供及び協力依頼として、本事業のタスクホースリーダーを務める山形大学の林田副学長から概要について説明させていただきたい旨の発言があった。

次いで、山形大学 林田副学長から、資料8に基づき、委細説明が行われ、SDGsの考え方からすると地域の中で連携する部分も非常に多く、また、今回は大学だけではなく地方自治体及び一般の企業も含めてプラットフォームを組織して進めていきたいと考えており、是非、プラットフォームに参画の上、様々なアイデアを提供願いたいと考えているので、参画について御検討願いたい旨述べられた。

引き続き、会長から、今後各機関もSDGsに関する様々な取り組みをされると思うので、これから更に連携を密にして、山形県全体の高等教育機関プレゼンス向上を図りたいと考えている旨述べられ、参画について協力が要請された。

2 新型コロナウイルス感染症対応について

会長から、新型コロナウイルス感染症に関する対応状況について情報提供をお願いしたい旨発言の後、授業への対応状況、学生の他大学学生との交流の状況、学生のアルバイト先での状況等について情報交換が行われた。

次いで、会長から、各機関の学生に対する様々な支援を実施いただいた山形県へ対して謝意が述べられた後、現在「新型コロナ克服・創造山形県民会議」に大学関係者として小職が参加しているが、今後の同会議開催の際は、事前に各機関の意見を伺った上で出席し、当コ

ンソーシアムの意見を反映させたいと考えているのでよろしくお願ひしたい。なお、本感染症については長期化することと思われ、今後も学長・校長懇談会を開催し情報交換したいと考えている旨述べられた。

【配付資料】

- 番号なし 総会名簿及び会則
- 資料1 役員の選任
- 資料2 令和元年度大学コンソーシアムやまがた事業報告書
- 資料3 令和元年度大学コンソーシアムやまがた収支決算書（案）
（参考1）令和元年度大学コンソーシアムやまがた機関負担金収支決算額（案）
（参考2）令和元年度大学コンソーシアムやまがたゆうキャンパス・ステーション運営費収支決算額（案）
- 資料4 監事監査に関する資料（7月8日：監事監査）
- 資料5 令和2年度 事業計画書（案）
（参考1）第3期大学コンソーシアムやまがた事業計画
（平成30年3月27日総会承認）
（参考2）ダイバーシティ推進ネットワーク会議規程（平成30年3月13日制定）
（参考3）留学生受入拡大推進事業費
- 資料6 令和2年度 大学コンソーシアムやまがた収支予算書（案）
（参考）令和2年度 機関負担金（会費）（令和元年7月8日修正版）
- 資料7 令和3年度 機関負担金（会費）（案）
- 資料8 山形県、山形新聞社及び山形大学によるSDGsの推進に向けた共同宣言について（依頼）

議事録署名人

会長／山形大学長

五手 吳 利